



イマジン
ロータリー

Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

静岡ロータリークラブ

●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/望月 啓行 ●副会長/平尾 清 ●幹事/藤田 博久 ●副幹事/番匠 俊行

2022-2023 7月11日  第3631回例会

会員卓話「ロータリーのガバナンスと規定審議会」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
川辺 哲君

●会長挨拶●

会長 望月 啓行君

先週の金曜日7月8日は歴史上大変にショックな出来事が起こった日となりました。ロー

タリーは政治的には中立でなければならぬし、私も自民黨員ではありません。しかし、最も重責であろう日本のリーダーとして3188日という長い間、責務を全うしていただいた安倍晋三元首相があのような形で亡くなったことに対して、心より哀悼の意を表明したいと思います。安倍元首相の成果の総括は歴史がこれからしていくと思いますが、取り組んだ「戦後レジュームの総括」が一番

私には記憶に残っているものでした。つよい「国家感」をもっていらっしゃり、著書の『美しい国へ』の中には「国の骨格は、日本自らの手で、白地から創り出さねばならない。そうしてこそはじめて、真の独立が回復できる。」と書かれています。さまざまな取組の中で賛同できるものも疑問に思うものもありますが、取組の一つ「歴史認識」は東京裁判によって植えつけられた自虐的なものの見方を排し、慰安婦問題、南京事件などについて事実をもう一度見きわめ整理し、けじめをつけようとしたもので、今後次の日本をになう若者達に国際的な遺恨を残さないため取り組んだ、というのはそれぞれの個別問題の解釈を別にして評価出来るものと考えていました。さて、今回の事は民主主義への挑戦という人がいます。「民主主義への挑戦」というと歴史の流れでいうと民主的な政権を倒し独裁制や絶対君主制を作り出す、という文脈になりそうですが、今の所今回の犯人からはそのような大きな企てや大きな後ろ盾はみうけられません。しかし今回、民主主義の基本である「公の場で自らの主張を伝える」という機会を、大きな暴力で抹殺した事は確かです。そのような後ろ盾のない場合でもこのような民主主義に大きなダメージが加えられる時代になった事を、別な面からの脅威として考えなければなりません。その民主主義の基本の大きな権利の一つに「集会・結社の自由」というものがあります。日本でも憲法第二十一で保障されています。ロータリーは1905年に、アメリカの民主主義の元で集会から出来た「結社」です。この結社は、平等な個人がお互いに協力し、政府に依存することなく

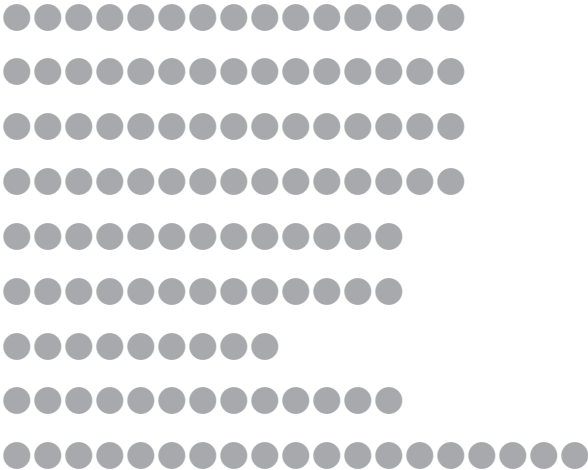
社会的活動をしているものでした。そのような意味では民主主義がなければロータリーはなかったかもしれません。そして今日の卓話テーマは、ロータリーの「規定審議会」です。この「規定審議会」こそロータリーが国家ではないが自らの「草の根民主主義」を実現するためにロータリアン全員に自治活動と立法機関への参加を保証するものとして行われているものです。是非、ロータリーの民主主義の方法論を感じ取っていただければと思います。今回の襲撃事件は本当に衝撃的で悲しいものでした。しかしもう過去は残念ながら変えられません。私たちができることは、起こったことから何も学び「どのような未来をつくれるか？」をイマジニし行動するしかありません。安倍元首相が何度も唱えていた「美しい国」というものは、みなさまひとり一人がそれぞれに考えるとどのような「日本」なのか？を想像し、それに向けて行動していくための、ひとつのきっかけにしても良いかと考えます。みなさまの今週のご健康をおいのりいたします。ありがとうございました。



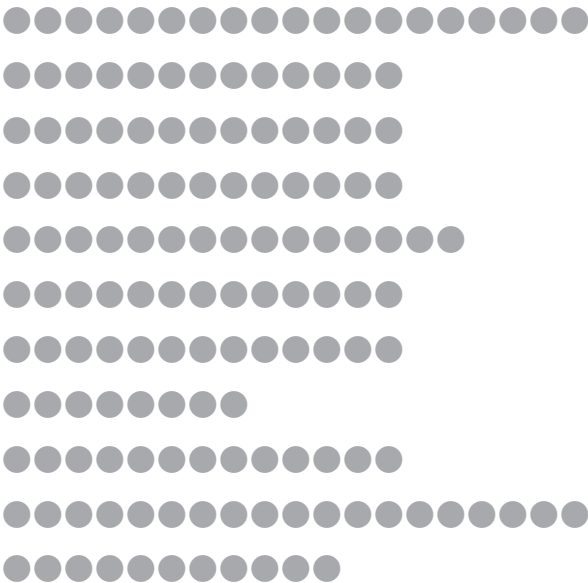
●新 会 員 紹 介●



箕田 智則さん
(みのだ ともりの)



原田 兆啓さん
(はらだ よしひろ)



●地区大会実行委員長紹介・委任状●

地区大会実行委員長 山崎 純男君

ご挨拶ならびに実りある地区大会の実現に向けて協力依頼がありました。

●委 員 会 報 告●

雑誌委員会

委員長 粉川 翔太郎君



「ロータリーの友」7月号の紹介がありました。

静岡大学教育連携講座特別委員会

委員長 山田 知広君



学生の受け入れ企業が決まり、今後の進め方について説明がありました。

職業奉仕委員会

委員長 渡邊 孝雅君



7月25日開催のサンセット例会（夜間例会）の案内がありました。

●幹 事 報 告●

幹事 藤田 博久君

クラブ事業計画書に誤りがあり訂正しました。例会終了後、地区大会実行委員会を開催します。次週は休会となります。

●おめでとぅ●

【誕生祝い】

●月●●日 田中 孝将さん

●月●●日 寺田 常剛さん

【結婚記念日】

●月●●日 川崎 裕司さん・理恵子さん

●スマイル●

【7月11日】

浅原 諒蔵君

新入会員5名（①小泉さん②歌川さん③杉本さん④赤座さん⑤善正さん）よろしくお願ひします。

望月 啓行君

本年度会長を勤めさせていただきます望月啓行と申します。精一杯がんばります。（誕生日と一緒にスマイルします）よろしくお願ひします。

粉川 翔太郎君

本年度雑誌委員長を拝命しました。拙い説明になると思いますが、よろしくお願ひします。

寺戸 常剛君

誕生日祝ありがとうございます。

川崎 裕司君

結婚記念日の素敵な花をいただきました。●
●回目のお祝いで神戸ハーバーランドに行っ
ておいしい鉄板焼きを食べてきました。

馬場 洋文君

スマイル担当になりました。どうか一年間よろしくお願ひします。

戸野谷 宏君

新会員 杉本健さんをよろしくお願ひします。
先週例会欠席しましたので、改めてスマイル
します。

望月 啓行君

新入会員の箕田智則君 ぜひよろしくお願ひ
します！

箕田 智則君

この度は歴史と伝統ある静岡ロータリークラブに入会させていただきありがとうございます。わからないことも多いですが、ご指導の程、よろしくお願ひします。

坂上 康君

新入会員の原田さんをよろしくお願ひします。

原田 兆啓君

本日より入会させていただきます静岡トヨタの原田と申します。伝統と格式のある静岡ロータリークラブへの入会を認めて頂き、心より御礼申し上げます。これからも末長く宜しくお願ひ申し上げます。

【7月4日】

伴野 隆一郎君

日本銀行の小泉支店長さんを紹介させていただきます。

志田 洪顯君

新会員 日銀小泉さんをよろしくお願ひします。

小泉 達哉君

日本銀行静岡支店長として先月1日に着任致しました。伝統と格式のある静岡ロータリークラブに入会をお許し頂きまして大変光栄に存じます。静岡は初めての土地で何かと不慣れで至らぬ点多々ございますが、皆様には何卒ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

歌川 鉄夫君

伝統あるロータリークラブへの入会をお認めいただき光栄に感じております。宜しくお願ひ申し上げます。

杉本 健君

伝統と格式のある静岡ロータリークラブにご入会を認めて頂きありがとうございます。

赤座 弘一君

伝統と格式ある静岡ロータリークラブに入会できて光栄です。

馬場 洋文君

トヨタL&F静岡の善正隆文社長をよろしくお願ひします。

善正 隆文君

この度は伝統と格式のある静岡ロータリークラブに入会させて頂き、ありがとうございます。

望月 啓行君、坂上 康君

新会員の内田健さんをよろしくお願ひ致します。闘志秘めた男です。

内田 健君

伝統と格式ある静岡ロータリークラブへの入会承認をいただき、ありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

谷本 宏太郎君

新会員の神谷真太郎さんをよろしくお願ひします。

石川 雅章君

今年度会員増強委員長を拝命致しました石川です。新会員の神谷くん「作曲家」をどうぞよろしくお願ひします。

神谷 真太郎君

伝統と格式ある静岡ロータリークラブに入会することを承認いただきましてありがとうございます。胸を張って活動させていただきます。

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
7/11	108(107)	74名 (現地73名 Zoom1名)	34名	68.22%

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！
なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに
変更が無い場合は全会員出席扱いとします。

●五大奉仕委員会方針発表●

クラブ奉仕委員会 委員長 平尾 清君



各奉仕活動のサポートならびに親睦に力を入れていきます。

職業奉仕委員会 委員長 渡邊 孝雅君



職業を通じて地域社会に奉仕することを基本方針とします。

社会奉仕委員会 水谷 学君



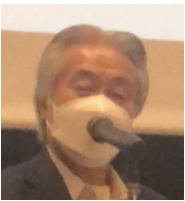
社会、地域の人々の生活の質を高めるための取組みを行います。

国際奉仕委員会 委員長 石塚 直美君



グローバル補助金を必要なところに上手に活用していきます。

青少年奉仕委員会 委員長 寺戸 常剛君



ローターアクト、インターアクト事業支援、ロータリアンとの交流を図ります。

●会 員 卓 話●

寺戸 常剛君 望月 啓行君

「ロータリーのガバナンスと規定審議会」

ロータリーの方向性を導くためにR I定款、細則等を審議・決定する「規定審議会（3年に一度）」とR I定款、細則等以外の部分を審議、決定する「決議審議会（毎年）」があるということです。決議案の提案方法、国別の提案数は日本が一番多いこと、これまで起案された代表的なものについて説明がありました。

